

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名

代表者名

田口 正夫

以下のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政 務 活 動 報 告 書

令和 6 年 3 月 28 日 提出

活動年月日	令和 5 年 7 月 10 日（月）～12 日（水）	
氏名	田口 正夫	
用務先 及び 内 容	1	用務先 秋田県横手市
	7 月 10 日	内 容 クリーンプラザよこてについて
	2	用務先 山形県天童市
	7 月 11 日	内 容 子育て未来館げんキッズについて
	3	用務先 栃木県宇都宮市
	7 月 12 日	内 容 ジャズの活用について
	4	用務先
	月 日	内 容
備 考		

行政視察 報告書

報告者：田口正夫

視 察 日	令和5年7月10日（月曜日）
視 察 内 容	クリーンプラザよこてについて（秋田県 横手市）
視 察 者	田口正夫

横手市は秋田県の内陸南部に位置し、横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村の近隣8市町村が平成17年10月1日に合併、新たに人口10万4千人の秋田県第2の都市として誕生した。

東は奥羽山脈、西は出羽丘陵に囲まれた横手盆地の中央に位置し、奥羽山脈に源を発する成瀬川、皆瀬川が合流した雄物川及び横手川が貫流し、中央部には肥沃な水田地帯が形成されている、古くは旧石器時代からの遺跡が数多くある

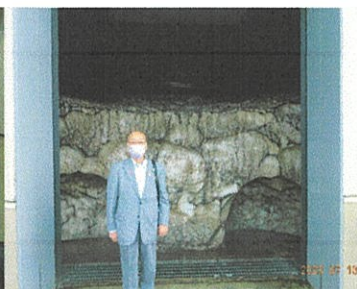
ほか、中世には武士の台頭を予感させる「後三年合戦」（1083～1087）の舞台になるなど、歴史上重要な出来事がおこり、江戸時代には、秋田藩（佐竹氏）の南部における交通の要衝として商業面でも大いに栄えた、気候は四季の変化に富み、多様な作物の生育に適し、また、冬の伝統行事「かまくら」に象徴されるように日本海側有数の豪雪地帯としても知られている。（平均的な積雪深は約110cm。昭和48年度には積雪深259cmを記録）B級グルメでは、「よこて焼きそば」で、全国的に有名になった。

※クリーンプラザよこて

横手市には3カ所あったごみ処理施設の経年による老朽化に伴い、新たに統合したごみ処理施設の建設を平成25年度より進め、ごみ処理施設「クリーンプラザよこて」を設置、横手市では初めてとなる民間のノウハウを生かした公設・民営方式（DBO方式）の契約方法を採用し、設計から建設工事はもちろんの事、施設稼働後の管理・運営・資源化業務も平成28年から令和18年までの20年間という長期にわたり全て民間との一括契約とする新たな試み。

「クリーンプラザよこて」は環境と循環型社会形成のシンボルとなる施設としてリサイクルの推進に重点を置いている、資源物を分別回収することに加え、「燃やすごみ」は上記タービンによる発電（熱回収）を行い、焼却残さ（主灰）に関してもセメントの原料としてリサイクルできる仕組みとなっている。

「混ぜればごみ、分ければ資源」ごみの減量化や分別の徹底、リサイクルの推進に横手市民一丸となって取り組み、豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐとともに、美しいまちづくりを進めている。



【感想・岡崎市への反映】

※今後のごみ排出量の削減と、更なる適正な分別による資源化量の向上

- ・ 不適切なごみ分別への指導（町内活動を通じて、分別のしかたの指導）
- ・ 事業系のごみの適正な分別（産業廃棄物の混入防止と資源化意識の向上、展開検査等の実施）

※適正な施設の維持運営

- ・ P F I 法に準じた市職員の業務監視スキルの向上、コンサルによるモニタリングへの参加。
- ・ ごみ焼却施設に関する専門知識を有する職員の増員、知識の向上（先進地への視察研修の実施、コンサルによるモニタリング参加）

※雪国ならではの知恵、別棟に雪を入れる棟(むろ)を作り、夏場に別棟(むろ)から事務所棟に風を送り、冷房代わりに使っている、私も実際に風にあたってみました、とても涼しかったです、本当に岡崎市内では、考えつかない施設でした。

行政視察 報告書

報告者：田口正夫

視 察 日	令和5年7月11日（火曜日）
視 察 内 容	子育て未来館げんキッズについて（山形県 天童市）
視 察 者	田口正夫

天童市は、人口約6万人、村山盆地のほぼ中央部に位置し、東西が18.4km、南北が10.6km、東は奥羽山脈を境に宮城県仙台市と接し、西は日本三大急流の一つである最上川を境に寒河江市と、南は立谷川を境に山形市と、そして北は乱川を境に山形空港のある東根市と接している、内陸性の気候であり、自然に恵まれた地域である。

天童市は、全国の将棋駒生産量の大部分を生産しており、駒工人は木地師、書き師、掘り師、盛り上げ師に分かれている。平成8年4月に国の伝統的工芸品に指定され、後継者の確保と育成に努めている。



※天童市子育て未来館「げんキッズ」

1. 背景

- ・近隣市の室内型遊技施設の開設
- ・市民からの要望（雨天時や冬期間のこどもの遊び場が欲しい等）
- ・子育て支援日本一を目指す上での中核施設として

2. 経過

- ・平成21年度 第六次天童市総合計画の重点プロジェクトに位置付け
- ・平成23年度 天童市子育て支援施設整備基本構想策定
市民検討委員会委員：学識経験者、民生委員、公民館長、PTA会長、小学校長、保育園長、婦人会長、障がい児関係者、育児サークル代表、公募 合計13人
4回の基本構想市民検討委員会を経て、パブリック・コメント実施
- ・平成24年度 プロポーザル方式により基本設計業者を選定
- ～平成26年度 用地取得、地質調査、基本設計
- ・平成26年度 名称募集（市内外から134点の応募）
天童市子育て未来館の設置及び管理に関する条例制定指定管理者の公募・指定（東京ドームグループ）
- ・平成27年度 指定管理委託開始（4月から）
5月21日オープン

3. 基本理念

- （1）親の「育児力がアップ」する施設
- （2）親と子の「家族力がアップ」する施設
- （3）子どもの「成長力がアップ」する施設

4. 講座

年間を通じて、子どもや保護者を対象にした、さまざまな講座を開設

（例）折り紙、タッチケア、音楽で遊ぼう、クラシックバレエ、ベビトレヨガ、ママヨガ、

マタニティヨガ、初めての音楽、リトミック、わくわく空手教室、ベビーダンス。えいごであそぼう、骨盤ケア、3Bリズムダンスなど。

5. 運営上の留意点

- ・子どもと保護者が一緒に入館する（大人のみの入館は原則不可）
- ・館内が過密になることを防ぐため、必要に応じて入場制限をする。
- ・大型遊具等にはスタッフの職員を配置
- ・接客レベルの向上を心掛ける
- ・四季やイベントに応じた館内装飾を行う



【感想・岡崎市への反映】

- ・本市にも、子どもと親と一緒に過ごす施設がありますが、全天候型の施設は限られています、このような施設を、設置、運営をしていくには、多くの人員と、それに見合ったノウハウを持つ人員が必要となってくる。（新しく設置するには、建設費等が必要）
- ・設置・運営については、市民の多くの関係団体との、検討及び打ち合わせをして幅広く意見を聞き、取りまとめをする。
- ・先進事例がある所に視察等を実施し、調査研究に努めるとともに、人材の育成等に努める。
- ・先進地を訪れて、毎回思うことですが、職員のヤル気、それを見守る、市当局の考えが、必要となる。

行政視察 報告書

報告者：田口正夫

視 察 日	令和5年7月12日（水曜日）
視 察 内 容	ジャズの活用について（栃木県 宇都宮市）
視 察 者	田口正夫

聴けば愉快だ・宇都宮

「餃子のまち」・「カクテルのまち」・「ジャズのまち」

宇都宮市は、東京から北へ100キロメートル、栃木県のほぼ中央に位置し、北西に遠く日光連峰を望み、近くは大谷、古賀志、鞍掛の丘陵が伸び、東に鬼怒川の清流、中央に田川、東南には関東平野が開け、美しい自然に恵まれている。

宇都宮の歴史は古く、その昔、蝦夷平定のため、宇都宮に足を踏み入れた豊城入彦命（とよきいりひこのみこと）が開祖といわれており、これを祀った二荒山神社（ふたあらやまじんじゃ）の門前町として栄えた、平安末期には、宇都宮城が築かれ宇都宮氏の城下町となり、江戸時代には、奥州、日光街道の要として参勤交代や日光見物の旅人でにぎわい、（小江戸）と呼ばれるような繁盛ぶりを示していた。平成19年3月31日に、上河内町、河内町と合併し、北関東初の50万都市となった、また、平成23年には北関東横断自動車道が全線開通し、恵まれた立地条件や交通条件、各種都市機能の集積などにより、栃木県の政治・経済・文化の中心地であると同時に、首都圏の北の拠点として発展を続ける。



※ジャズのまちづくりに取り組む多くの団体

- ・「うつのみやジャズのまち委員会」、

目的 宇都宮市の軽音楽文化の振興を図るため、ジャズを中心とした音楽のまちづくりを推進することによって、「ジャズのまち・宇都宮を」創出する。

- ・宇都宮ジャズ協会 ジャズの民間団体として誕生
- ・市民芸術祭実行委員会軽音楽部会
- ・ミヤ・ジャズ推進協議会

※1) ジャズのまちづくり事業

- ・ジャズライブ育成事業

音楽のあふれるまちを創出していくために、プロ・アマチュア音楽家の生ライブを、宇都宮市の中心部の街角で開催する。

- ・ミヤ・ストリートギグ（5月）
- ・ミヤ・サンセットジャズ（6月～9月）
- ・ミヤ・ジャズイン（11月）
- ・宮ふれあいステーションジャズ（4～10月）
- ・ミヤ・ビッグジャズ（8月）など

- ・ジャズ教育普及事業

- ・ふれあいジャズセミナー
- ・学校ジャズ普及事業
- ・ふれあい文化教室
- ・ジャズ講座や出前コンサートの開催 など

- ・顕彰事業

宇都宮市出身である世界的ジャズミュージシャンである渡辺貞夫氏を顕彰する崔しを実施し、市民のジャズに対する意識の高揚を図る。＜ナベサダライブ＞

- ・ジャズのまちPR事業

「ジャズの街」をPRするため、ホームページの運営や、駅近くでのストリートピアノ設置など、「ジャズのまち宇都宮」を内外に発信。

- ・ジャズのまち宇都宮展
- ・議場ジャズ
- ・誰でも弾けるピアノ など

※2) 今後の事業展開に向けての取り組み

- ・推進団体の連携強化
- ・次世代のジャズ奏者育成や活動機会の充実



【感想・岡崎市への反映】

- ・ジャズのみの発展事業を推進していくのではなく、宇都宮市のように、市内には数多くのバーがあり、店内ではジャズの生演奏をする店もあり、ジャズとカクテル、カクテルにはジャズが合うと言う、話題性を発信、何かとコラボすることの必要性を考える。
- ・ジャズの演奏家が気軽に演奏ができる、大小の街中にステージを設置して、いつでもだれでもが演奏ができる、場所づくりを。
- ・宇都宮市は、全国では初となる全線新設のライトレール整備、各種スポーツイベント等の実施など魅力のある催し物を展開し、市の発展をを目指している、注目すべき市である。